



友愛の森(二中だより)



学校教育目標

二中文化を創造する生徒

学びが深まる授業の創造・認め合える学級の創造・共に高め合う学校の創造

令和5年6月1日発行

本当の意味での「友愛」とは・・・

～ 5月全校朝礼より ～

小鳥はさえずり 木々は生きる証しの音を立てている
悩める友の声は小さく 未来を語る友の声は明るく大きい

校長 望月 俊伸

5月18日(木)から20日(土)までの3日間、1年生は校外学習、2年生は自然教室、3年生は修学旅行、それぞれの学年行事が実施されました。私は修学旅行に同行させていただきましたが、3年生の素晴らしい姿をたくさん見る事ができました。学年全体としても、個人としても大きく成長することができた3日間であったと思います。また、自分たち自身がそれを感じるだけでなく、関わった方々から二中3年生の褒め言葉をたくさん頂くことができました。これは3年生だけでなく、1・2年生についても、ご指導いただいた外部講師の方々から二中学生の良さや頑張った様子を聞くことができ、とても嬉しく、そして誇らしく思いました。学年行事は大成功であったと思います。それは、先生方のサポートがあつてのことですが、何よりも自分たちの力で、生徒主体で大きなことを成し遂げたと言えます。どうか自信をもってください。そして、これで満足することなく、更なる高みを目指して、これからの学校生活に生かしていってほしいと思います。

さて、今回は大きな行事が終わり、この行事を通して友情も深まったこの時期だからこそ、皆さんに考えてほしいことがあります。本校の学校だよりのタイトルは『友愛の森』ですが、二中のどこかに「友愛の森」があります。どこにあるか知っていますか？知っていたとしても、そこを訪れたことがある人はあまりいないと思います。

先日、用務員の塩川さんが、木々の剪定や草刈りなどをして、「友愛の森」をきれいに整備してくださいました。今までうっそうとしていて気づかなかったのですが、きれいになったお陰で、森の中に石碑があるのを見つけました。そこにはこんな言葉が刻まれていました。

「小鳥はさえずり 木々は生きる証しの 音を立てている 悩める友の声は小さく 未来を語る友の声は 明るく大きい」

皆さんは、この言葉がどんな意味をもつと考えますか？正解はなく、読み手の捉え方によると思いますが、私と塩川さんの見解は同じでした。「皆さんには、悩みなんか吹き飛ばして 誰しもが明るく大きな声で 未来を語ってほしい。」ではありません。「友の中にはいろんな人がいる。明るく大きな声の中に 小さな声で叫んでいる友がいることを忘れてはならない。その声に耳を傾けてほしい。」という解釈をしました。

私が好きなback numberの曲に『水平線』という歌があります。その歌詞の中にも、これと同じようなフレーズが入っています。

「自分の背中は見えないのだから 恥ずかしがらず人に尋ねるといい 心は誰にも見えないのだから 見えるものよりも大事にするといい 毎日が重なることで 会えなくなる人も出来るけれど 透き通るほど淡い夜に あなたの夢がひとつ叶って 歓声と拍手の中に 誰かの悲鳴が隠れている 耐える理由を探しながら いくつも答えを抱えながら 悩んで あなたは自分を知ろう」

あなたが嬉しいとき、どこかで悲しんでいる友がいるかもしれません。あなたが喜びに溢れているとき、誰かが悩み苦しんでいるかもしれません。そういう人がいるかもしれないということを想像できる人になれるといいですね。また、悲しむ友や悩める友の声はいつも小さく、大きな音や声にかき消されてしまうこともあります。聞こうとしないと聞けないのかもしれません。

誰かのために何かをしてあげられるのが一番ですが、現実にはなかなか難しいことです。その人の存在に気づいてあげることが、本当の意味での「友愛」なのかもしれません。

3年生 修学旅行 in 奈良・京都



平等院



大徳寺大仙院抹茶講話・体験



清水焼絵付け体験

2年生 自然教室 in 富士川・根北の森・西湖



富士川ラフティング体験



根北の森 間伐デモと散策



昼食 ほうとう作り体験

1年生 学年行事 at 学区・富士宮第二中学校



宮おどり (講師:佐野禎子先生)



ジュニア防災士養成講座



学年レクリエーション長縄

福ろう合同学習会(4月26日)

市内5校がリモートでつながり、第1回福ろう合同学習会が実施されました。1年間一緒に活動する仲間と顔合わせができました。



学び方集会(4月26日)

第1回学び方集会で、3年生から後輩に向けて、ノートの書き方、より良い勉強方法についてお話がありました。

